

原発の再稼働は絶対に許さない

原発のない社会の実現を目指して活動続ける私たちは、戦後 70 年、被爆 70 年の節目にあたる今年を、世論を無視した暴走政治の中で迎えています。

安倍政権は、鹿児島県の川内原発、福井県の高浜原発を皮切りに、全国の原発を再稼働させようとしています。しかし、再稼働の前提となる「新規制基準」には、過酷事故に対する住民の安全確保は考慮されていません。事故の際の避難計画の策定を求められる半径 30 キロ圏内の多くの自治体と住民は、再稼働に強い不安の声をあげています。原発から出る「核のごみ」の処分も、全くめどが立たないままです。原発が事故なく安全に稼働し続けたとしても、稼働すれば「核のごみ」は確実に増え続けます。何より、福島事故はいまだに収束していません。事故原因も明らかになっていません。県民の多くは故郷に帰れず、苦しみを続けています。こんな状態で原発を再稼働するなど絶対に許されません。

核と人類は共存できません。広島に住む私たちは、このことを肝に銘じて核のない世界が実現するまで粘り強く行動を続けます。

広島・長崎被爆 70 年の今年、世界は核兵器廃絶に向けて大きく動こうとしています。核兵器を全面的に禁止し廃絶する条約の、交渉開始を求める国は国連加盟国の 3 分の 2 を超えました。核兵器の非人道性を告発し、その廃絶を訴える共同声明には 155 カ国が賛同しています。ところが日本政府はかたくなに、核兵器禁止条約の交渉開始を求める国連総会決議に「棄権」の態度を取っています。これは被爆国として、あまりにも恥ずかしい態度です。そればかりではありません。安倍政権は憲法 9 条を破壊する集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、それを具体化する法律整備を今国会で強行しようとしています。脱原発の市民運動にも大きくかかわる特定秘密保護法は昨年末、ついに施行されました。

私たちは安倍政権の退陣を求めます。国民多数の声に耳を傾けず、かたくなに暴走政治を続ける安倍政権は 1 日も早く退陣するよう心から訴えます。

先の大戦で原爆を投下され、多くの苦しみを今なお味わい続けている広島の人たちは、声を大にして求めます。原発は再稼働するな！ 核兵器禁止条約の交渉を始めよう！ 憲法 9 条を守れ！ 日本を「戦争する国」にするな！

2015 年 2 月 21 日

さよなら原発ヒロシマの会総会参加者一同